



# こども感染症情報

14.8.20  
週報第502号

## ☆ 管内の主な感染症の流行状況 ☆

疾患名	管内状況第33週(8/11~8/17)※	
	発生数(人)	前週との比較
感染性胃腸炎	11	↓
溶連菌咽頭炎	2	↑
ヘルパンギーナ	31	↓
手足口病	2	↑
水痘	0	→
流行性耳下腺炎	0	→
突発性発疹	3	↓
伝染性紅斑	1	↑
RSウイルス	0	↓

(参考) 秋田県の状況 ※ 第32週(8/4~8/10)
<全県の発生状況>
1位: ヘルパンギーナ (全県で前週より28%増加)
2位: 感染性胃腸炎 (全県で前週より37%減少)
3位: 溶連菌咽頭炎 (全県で前週より40%増加)
4位: 手足口病
5位: 水痘
大館、北秋田、由利本荘地域 警報: ヘルパンギーナ
横手地域 警報・注意報 ありません

※「管内状況」は横手保健所管内の5小児科医療機関による  
※「秋田県の状況」は秋田県感染症情報センターによる

### 横手地域・学校欠席者情報(8/18)

疾患名	感染性胃腸炎	インフルエンザ	水痘	マイコプラズマ	おたふくかぜ	溶連菌咽頭炎	手足口病	伝染性紅斑
施設(数)								
保育所・園(33)								
小学校(22)								
中学校(8)								
高校、他(7)								

夏休み

感染症情報収集システムより(人)

### 腸管出血性大腸菌感染症(県内32週) 発生報告6人

例年7~9月に患者報告が多くなっています。  
菌に汚染された食肉などを扱った調理器具等から二次汚染を引き起こしたり、手指を介してヒトからヒトへ感染が拡大したりします。

**対策** ■手洗い ■食品の中心部まで十分加熱 ■調理器具は十分に洗浄

